

チェンマイのブティックホテル タマリンド・ヴィレッジ コンテンポラリー・タイ・ジュエリーのショーケース

モダン・デザインが伝統に出会う「ドリームズ・オブ・ノース」
タイの才能あふれる若いジュエリー・デザイナーの作品を展示

2010年9月



「ドリームズ・オブ・ノース：コンテンポラリー・タイ・ジュエリーのニュアンス / ノスタルジア」は、8月6日よりチェンマイのタマリンド・ヴィレッジにてスタートしました。プライベート展示コーナーにて、タイの若く、素晴らしいジュエリー・デザイナー9人の作品をご覧いただけます。「ドリームズ・オブ・ノース」では作品の美しさや職人技を披露するだけではなく、タイ北部の文化から得るインスピレーション、記憶、解釈などのテーマを感じていただけるショーケースです。

サブラング、フロウ、モノ、フォンティップスやアズティックのような人気ブランドの作品が含まれる今回のコレクションは、チェンマイでは初めての展示・販売の機会です。タイ北部の選りすぐりの芸術品やホテルのシグネチャープロダクト、さらにタイで最も才能のあるコンテンポラリー・デザイナーによる作品を販売しているタマリンド・ヴィレッジのデザイン・ブティックでのみ入手可能なコレクションです。

ジュエリーのインスピレーションは、サブラングの「ラク・タイ」コレクション、フォンティップの「マライ」コレクション、さらにアズティックの「ドキヤ」シリーズに見られるように葉や花、さらに流れる水をはじめとする繊細な自然やオーガニックのテーマから、派手なシルクの糸とメタル素材を合わせているアズティックの「ビー・フロウ」シリーズのプレスレットやネックレス、さらに手の込んでいるモノの「ウィー・ラブ・タイ・ナンバーズ」シリーズの、タイ文化の伝統から得たタイ文字を楽しく取り入れているものまで多彩です。

さらに、よく知られているデザイナー・ブランドも展示されています。カソの「リフレクション・コレクション」は、光のはかなさを表現したフィリグリー（金銀線細工）のイヤリング等、クリエイターが蝶の変化していく生命サイクルを様々なパターンや形を用いて反映させています。新しいブランド、ピランタは自然と伝統的なタイ文化の要素を取り入れ、タイで縁起の良いシンボルとされる蓮と提灯をインスピレーションとしたガラヴァージ・シリーズを発表しています。受賞歴もあるトゥデザイアは、コンテンポラリーなデザインを誇る、目を見張るようなオリジナル・シルバー・ジュエリーを展開します。

အမေဗျာဒွိ ဂြိုဟေ့

TAMARIND VILLAGE
CHIANG MAI



ドリームズ・オブ・ノース：コンテンポラリー・タイ・ジュエリーのニュアンス / ノスタルジアの展示ではモダンジュエリーと古代ランナー文化に由来する商品を巧みに並べ、さりげなく比較することで、それぞれのピースの持つ新鮮な解釈や見識を見る者に与えます。一例として、僧侶が法要で使用していたヤシの葉を折り畳んで作られた扇の横に、裏地を付けた真鍮製のサブリングの作品が吊り下げられています。また、タイ北部の寺院で使用されているお供え用の台「カンドーク」に飾られるのは、儀式で供える花輪からインスピレーションを受けたフォンティップのマライ・コレクションのネックレスです

今回の展示のいちばんの注目は新鋭デザイナー、ニーラヌジュ・ウォンワシンがタマリンド・ヴィレッジのために制作した最新コレクション「トライバル」です。タイ北部の山岳民族が身に着けている色彩豊かな衣装や装飾品からインスピレーションを受け、ニーラヌジュはビーズ、羽、織物を手作業で仕上げたピースに足すことで素晴らしい作品を作り上げました。他では見ることもない、目をひく派手で印象的なデザインは、この地域の文化の影響を色濃く受けていることが一目瞭然です。ホテルのデザイン・ディレクター、ヴィチャダ・シタカリンはこの新コレクションに大いに満足し、次のようにコメントしています。「“トライバル”は、とてもユニークなコレクションです。タマリンド・ヴィレッジのためだけのエクスクルーシブアイテムであるのみならず、当ホテルのデザイン感覚を濃く反映しています。伝統的な要素をコンテンポラリー・デザインと合わせ、山岳民族のモチーフやパターンをちりばめている素晴らしい作品です。」とコメントしています。

「ドリームズ・オブ・ノース」は、伝統の形とコンテンポラリー・デザインがいかにお互いをひきたてることができるか、というホテルが常に伝えたいメッセージを発信しています。二つを絶妙にブレンドしたこの展示には、古代ランナー文化に親しむ現地の人々も、さらにタイ北部の文化をより知りたいと思う人々も共鳴することができ、さらに鑑賞者にとっては、幅広い作品を生み出したデザイナーのインスピレーションとなり得たクリエイティビティを感じることができるでしょう。



展示は2010年11月30日まで開催されます

タマリンド・ヴィレッジに関して

タマリンド・ヴィレッジ、チェンマイは、ユニークで魅力的なランナー王朝スタイルのブティックホテルです。古都チェンマイの中心地に位置し、歴史的な寺院、趣のあるショッピングストリートなどに至近距離の絶好ロケーションです。当ホテルは、42の客室、3室のスイートから構成され、いくつもの中庭、タイ北部の様々な部族特有の織物や模様を反映したデザインです。静寂と平和のオアシス、タマリンド・ヴィレッジは、ホテルを保護するかのようそびえる樹齢200年のタマリンドの木から命名されました。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
ラヤパディ、およびタマリンド・ヴィレッジ日本地区PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

TEL : 03-3403-5328 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp

<http://www.kentosnetwork.co.jp/>

